

権利擁護／虐待防止①

基礎知識編

⑤高齡者虐待の実態

居宅編

所属_____

氏名_____

この教材の目的

- 居宅では、どのような虐待が発生しているのかを理解する。
- 居宅での虐待防止のために何ができるのか分かる。

MEMO

高齢者虐待防止法に基づく対応
状況等に関する調査結果から
(平成28年度調査)

MEMO

虐待は発生割合を認知症の重症度別ではどの区分が最も多いでしょうか？

1. 認知症日常生活自立度Ⅰ
2. 認知症日常生活自立度Ⅱ
3. 認知症日常生活自立度Ⅲ
4. 認知症日常生活自立度Ⅳ
5. 認知症日常生活自立度M
6. 自立又は認知症なし

MEMO

認知症日常生活自立度Ⅱの高齢者への虐待が一番多い理由を考えてみましょう

所要時間:5分

MEMO

虐待相談・通報者は誰が多い？

- 介護支援専門員
- 介護保険事業所職員
- 医療機関従事者
- 近隣住民・知人
- 民生委員
- 被虐待者本人
- 家族・親族
- 警察

MEMO

早期発見の努力義務

(高齢者虐待防止法)

高齢者の福祉に職務上関係のある者は、高齢者虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、高齢者虐待の早期発見に努めなければならない。

MEMO

居宅で最も多く発生しているのは、
どんな虐待だと思いますか？

- ①身体的虐待
- ②介護等放棄(ネグレクト)
- ③心理的虐待
- ④性的虐待
- ⑤経済的虐待

MEMO

身体的虐待は最も多いが・・・ 経済的虐待が多いのが居宅の特徴

居宅で起きている経済的虐待の例

- ・年金の取り上げ
- ・預貯金の取り上げ
- ・日常的な金銭を渡さない など

MEMO

要介護度別にみると、最も多く虐待を受けているのはどれだと思いますか。

- 要支援1
- 要支援2
- 要介護1
- 要介護2
- 要介護3
- 要介護4
- 要介護5

MEMO

なぜ要介護1が最も多いと思いますか？

所要時間:3分

考えるヒント:要支援2は少ない

MEMO

虐待の発生要因で多いのはどっち？

- ①虐待者の介護疲れ・介護ストレス
- ②被虐待者と虐待者との人間関係

MEMO

虐待が最も多い被虐待者との続柄は？

- ①夫による虐待
- ②妻による虐待
- ③息子による虐待
- ④娘による虐待
- ⑤嫁による虐待

MEMO

虐待が起こった家族形態で
最も多いのは？

- ①単独世帯
- ②夫婦のみ世帯
- ③未婚の子と同居
- ④子夫婦と同居

MEMO

被虐待者が利用している(していた)サービスのうち、多いのはどっち？

- ①訪問介護
- ②通所介護

MEMO

虐待を行った年齢層では、
どの年代が最も多いと思いますか？

- ①40歳未満
- ②40～49歳
- ③50～59歳
- ④60～69歳
- ⑤70～79歳
- ⑥80歳以上

MEMO

これらの虐待の実態から
どんなことが見えてきますか？

所要時間:5分

MEMO

居宅での虐待防止のために
何が出来そうですか？

MEMO

この教材を終えるにあたって

居宅での虐待は、認知症への理解不足、介護者の孤立などが引き金となります。
介護保険事業所の職員に、虐待の早期発見の努力義務が課せられている自覚が必要です。
利用者に小さな変化が見られた場合は、そのままにせず、報告しましょう。
家族支援は、重要な地域貢献にもなります。

MEMO
